

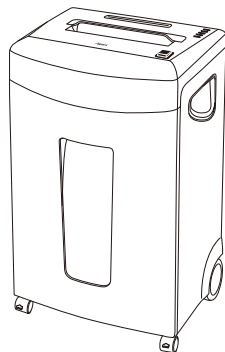
Asmix

CROSSCUT SHREDDER

クロスカット シュレッダー

品番 **S90C・SA90C**

取扱説明書



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。



説明書を読む

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全上のご注意」(1・2ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる場所に保管してください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

仕 様			
定 格 細 断 枚 数	A4コピー用紙(68 g/m ²): 18枚(50/60Hz) メディア(CD/DVD/カード): 各1枚	操 作 機 能	主電源スイッチ・逆転スイッチ 手動細断スイッチ・オートスタート&ストップ 自動停止安全スイッチ・細断肩満杯スイッチ
細 断 寸 法	A4コピー用紙: 4×22mm クロスカット メディア(CD/DVD): 7分割 (カード): 5分割	給紙口幅・投入口幅	紙専用: 232mm メディア専用: 135mm
ダストボックス 容 量	紙 専 用: 約33ℓ (A4コピー用紙18枚ずつ細断時: 約918枚) メディア専用: 約0.6ℓ (CD/DVD約7枚・カード約20枚)	コ ー ド の 長 さ	約1.6m
		使 用 電 源	AC100V(50/60Hz)
細 断 速 度	約2.5m/分(50Hz/60Hz)A4コピー用紙1枚時	消 費 電 力	500W(50/60Hz)
定 格 使 用 時 間	15分間	外 形 寸 法	W390×D309×H615mm (組合せ時、突起部含まず)
制 御 機 能	オートリバース機構 用紙&メディア同時細断防止機構 温度ブレーカー・警告ランプ・過電流保護機構	質 量	約14.7kg(組合せ時)
		付 属 品	取扱説明書・保証書

※細断枚数の「定格」は、環境・紙質・投入方法などにより変化する場合があります。※本機におけるメディアの定義は CD/DVD/カードになります。

株式会社 **アスカ**

カスタマーサービスセンター TEL.03-5690-9412

受付時間: AM10:00～12:00/PM1:00～5:00 月曜日～金曜日(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

2019年1月 第1版

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

この取扱説明書および製品には、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う恐れがある」内容です。
 注意	この表示の欄は「けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分しています。(図記号の一例です)

	この記号は、してはいけないこと「禁止」内容です。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

 説明書を読む	 100V以外禁止	ご使用の前に必ず 取扱説明書をよく読む	交流100V以外の電圧で 使用しない 感電・火災の原因になります。
 子供使用禁止	 分解禁止	子供の手の届く所で 使用しない けがをする恐れがあります。	絶対に分解したり 修理・改造をしない けがをする恐れがあります。 ※修理は販売店までお申し付けください。
 手を入れるな	 禁止	給紙口・投入口・排出口に 指を入れない けがをする恐れがあります。	電源コードを傷つけたり、加工したり、 ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、 重い物を載せたり、束ねたりしない ショート・感電・火災の原因になります。
 衣類巻き込み注意	 禁止	給紙口・投入口にネクタイ・ ネックレス・衣類等を 近づけない けがをする恐れがあります。	電源コードが破損した時は、 ご自身で修理しない ショート・感電・火災の原因になります。 ※修理は販売店までお申し付けください。
 髪の毛巻き込み注意	 プラグを抜く	給紙口・投入口に髪の毛を 近づけない けがをする恐れがあります。	お手入れの時は、 プラグを必ず抜く けがをする恐れがあります。
 可燃スプレー厳禁	 水ぬれ禁止	エアダスターで 細断屑の除去を絶対にしない 可燃性の高圧ガスに引火して 爆発します。	水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。

注意



禁止

**電源コードを
熱器具に近づけない**
電源コードが傷つき、ショート・
感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

細断屑を捨てる時、ダストボックスを引
き出す時、使用後は主電源スイッチを
「切」にし、プラグを必ず抜く
けがをする恐れがあります。



ぬれ手禁止

**プラグをぬれた手で
抜き差ししない**
感電の原因になります。



強制

**ダストボックスを出し入れ
する時は、指をはさまない
ように注意する**
けがをする恐れがあります。



強制

**プラグは根元まで確実に
差し込む**
感電・火災の原因になります。



禁止

**細断中はダストボックスを
出し入れしない**
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

移動させる時は、プラグを抜く
電源コードが傷つき、ショート・
感電・火災の原因になります。



禁止

**湿気・水気のある所・屋外で
使用しない**
ショート・感電の原因になります。



プラグを抜く

**プラグを抜く時は、電源コードを
引っ張らず、プラグを持って抜く**
電源コードが傷つき、ショート・
感電・火災の原因になります。



禁止

不安定な場所に置かない
けがをする恐れがあります。



禁止

タコ足配線をしない
感電・火災の原因になります。



禁止

**シンナーやベンジンで拭いたり、
殺虫剤をかけない**
ひびわれによるけが、ショート・
感電・火災の原因になります。



プラグを抜く

**長時間使用しない時は、
プラグを抜く**
事故や感電・火災の原因になります。



強制

**メディアの細断屑を捨てる時
は、手等を傷つけないように
注意する**
けがをする恐れがあります。



禁止

**紙またはメディアが詰まった状態で、
主電源スイッチを入れたまま
放置しない**
火災の原因になります。



禁止

**メディアの細断中は、
投入口を絶対にのぞかない**
細断中に破片が飛び出し、
けがをする恐れがあります。



禁止

**細断禁止物や通常は定格細断枚数
以上を入れない**
故障の原因になります。
※給紙口は10/11号のステープラー針を
定格細断枚数内で細断可能です。

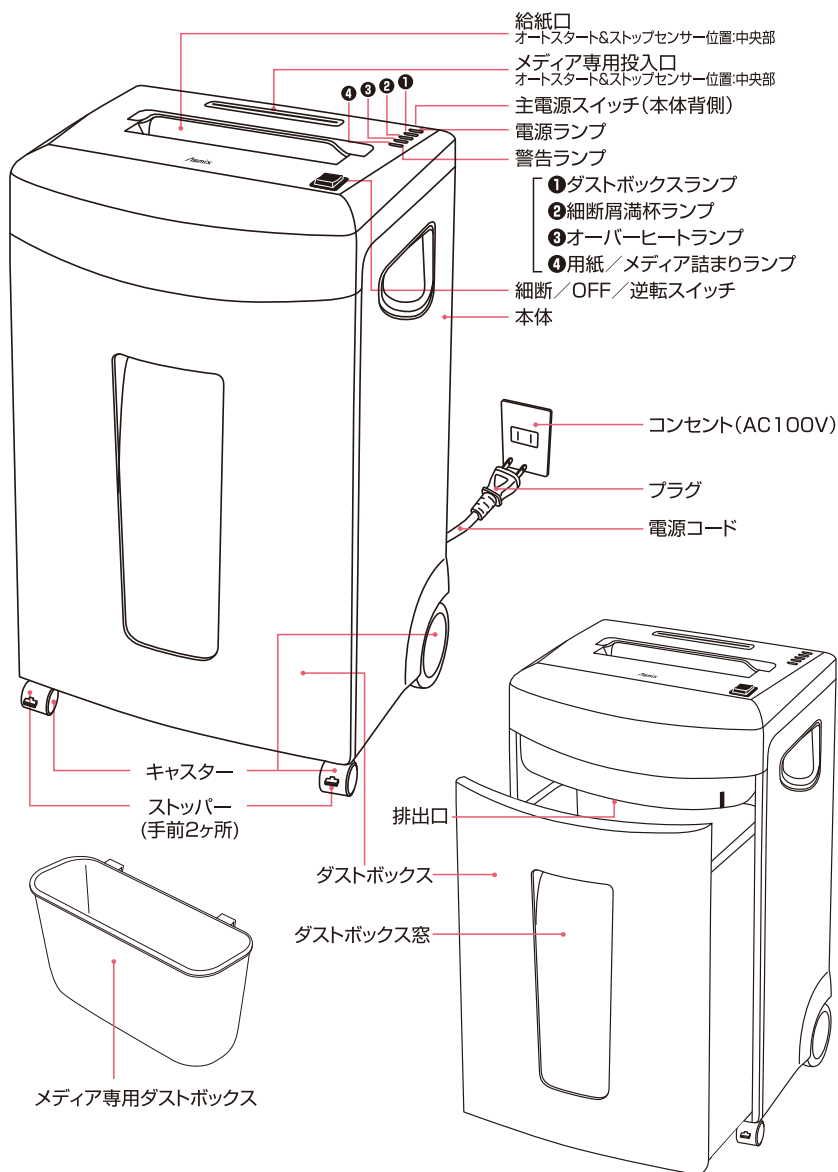


禁止

**電源コードを束ねたまま
使用しない**
故障・火災の原因になります。

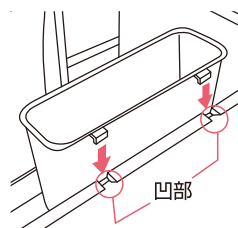
各部の名称

細断検査の為、ダストボックスや刃の中に細断屑が残っている場合があります、あらかじめご了承ください



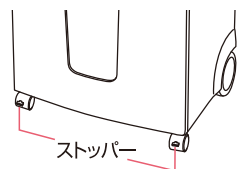
設置方法

- 1 メディア専用ダストボックスをダストボックスにセットします。メディア専用ダストボックスは、ダストボックスの奥側の凹部にメディア専用ダストボックスのツメを引っかけてセットして下さい。



- 2 ダストボックスを本体の中にしっかり入れます。

- 3 水平で安定した所に設置し、キャスターのストッパー(手前2ヶ所)を掛けてください。



- 4 プラグをコンセントに差し込みます。

お願い

- 主電源スイッチが必ず「**〇切**」になっていることを確認してください。
- ダストボックスを本体の中にしっかり入れないと、自動停止安全スイッチが作動して細断できません。ダストボックスを本体に入れる時は指や手を挟まないようにご注意ください。
- 移動時以外はキャスターのストッパー(手前2ヶ所)を必ずかけてください。
- 直射日光は避けてください。変形・故障の原因になります。

スイッチの使い方

主電源入/細断



主電源スイッチを「**I入**」にした後、細断／OFF／逆転スイッチを「**細断**」にすると、電源ランプが点灯し、約5秒間、刃が正回転した後に停止します。

用紙は給紙口、メディア(CD/DVD/カード)はメディア専用投入口に入れると自動的に細断を開始し、細断が済むと自動的に停止します。※ご使用後は必ず細断／OFF／逆転スイッチを「OFF」、主電源スイッチを「**切**」にしてください。

電源切



長時間使用しない時・細断屑を捨てる時・お手入れの時・ダストボックスを引き出す時・移動する時は細断／OFF／逆転スイッチを「OFF」にし、主電源スイッチを「**切**」にし、プラグをコンセントから抜いてください。

逆転



主電源スイッチを「**I入**」にした後、細断／OFF／逆転スイッチを「**逆転**」にすると、電源ランプが点灯し、押している間、刃が逆回転します。

手動細断



主電源スイッチを「**I入**」の位置にした後、細断／OFF／逆転スイッチを「**細断**」の位置にすると、電源ランプが点灯し、約5秒間、刃が正回転した後に自動停止します。

続けて手動細断する場合には、細断／OFF／逆転スイッチをいったん「OFF」にした後、再度「**細断**」にしてください。

警告機能・安全装置

ダストボックスランプ

細断屑を捨てる時など本体とダストボックスが離れると安全のため電源が自動的に切れ、ダストボックスランプが点灯します。ダストボックスを本体の中しっかりと入れてください。

※ダストボックスを引き出す時は細断／OFF／逆転スイッチを「OFF」にし、主電源スイッチを「切」にしてプラグを抜いてください。



細断屑満杯ランプ

ダストボックス内に細断屑が一杯になると、細断屑満杯ランプが点灯し、約4秒後に、刃が停止します。

解除するには、ダストボックス内から細断屑を捨ててください。



オーバーヒート

15分以上の細断やモーターに負荷がかかり過ぎた時等、モーターの温度が上昇した時、温度ブレーカーが作動し、オーバーヒートランプが点灯します。

主電源スイッチを「○切」にして、約60分間休ませてから再開してください。

オーバーヒート



用紙／メディア詰まり（オートリバース機構）

斜めに入れたり、一度に多量の用紙を入れて細断物が詰まると、用紙／メディア詰まりランプが点灯し、刃が自動的に逆回転して用紙を押し出し停止します。いったん用紙を取りだしてから、細断／OFF／逆転スイッチを「OFF」にした後再度「細断」にし、定格細断枚数に減らして細断していない方向から再度細断してください。

用紙／メディア詰まり



用紙&メディア同時細断防止機構

用紙とメディアを同時に細断しようとする時、用紙／メディア詰まりランプが点灯し、刃が自動的に停止します。用紙とメディアを取りだしてください。その後、細断していない方向から用紙とメディアを別々に細断してください。

※用紙とメディアを同時に入れないでください。

お手入れの仕方

本体のそうじ

- 乾いた柔らかい布で、カラ拭きしてください。
- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤を布に少しつけて拭き、その後乾いた布で拭きとってください。
(シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やクレンザーなどの研磨剤は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。)

お願い

けがをする恐れがありますので、お手入れの際は必ずプラグをコンセントから抜いてください。

細断の仕方

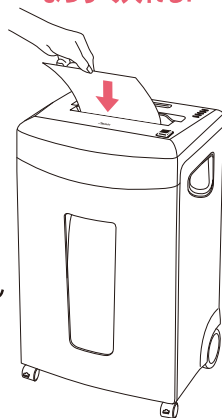
- ① プラグをコンセントに差し込み、
主電源スイッチを「**I入**」にします。
細断/OFF/逆転スイッチを「細断」にします。
・電源ランプが点灯します。



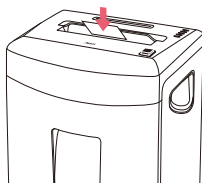
- ② 細断したい用紙は給紙口、メディア(CD/DVD/カード)
はメディア専用投入口に入れると、オートスタート
機構が作動し自動的に細断を開始し、細断が済む
と自動的に停止します。

・用紙を給紙口に、メディアを投入口の中央にまっすぐ入れてください。
・故障の原因になりますので、用紙とメディアは同時に細断しないでください。

まっすぐ入れる!

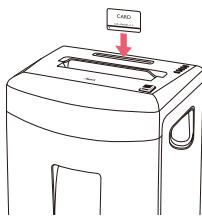


- ③ 細断が終わったら細断/OFF/逆転スイッチを「OFF」にし
ます。主電源スイッチを「**O切**」にします。



小さい用紙は、オート
スタート&ストップ
センサーが作動
する給紙口の▲印
に合わせて入れて
ください。

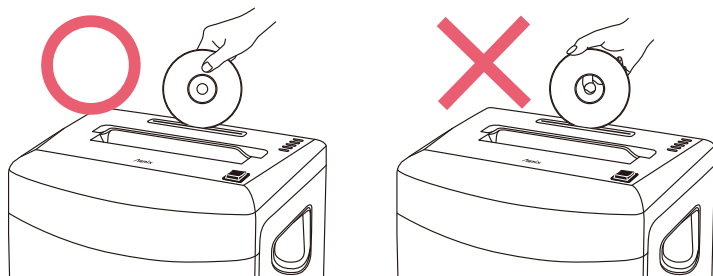
注> 給紙口の幅より**大
きい用紙**は、折って入
れてください。



カードは、オート
スタート&ストップ
センサーが作
動する投入口の
▲印に合わせて
横向きに入れて
ください。

細断の仕方

お願い

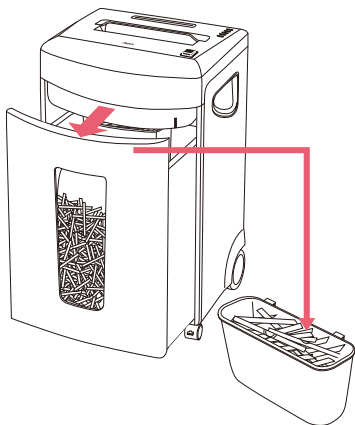


- CD/DVD は必ずディスクの端を持って投入してください。
けがをする恐れがあります。
- 用紙は給紙口で、メディアはメディア専用投入口で細断してください。
故障の原因になります。
- 用紙とメディアの両方を一度に細断しないでください。停止します。
- メディアのラベルをはがして細断してください。故障の原因になります。
- メディアの材質によっては、細断できない場合もあります。
- 連続細断する時は、**細断が完全に終わってから**必ず定格細断枚数内で、次の紙またはメディアを入れてください。細断中に入れると、詰まりの原因になります。
- 定格細断枚数は、A4 コピー用紙：18 枚、メディア：1 枚です。故障の原因になりますので、通常は定格枚数以上を細断しないでください。
- 湿度が高く用紙が水分を多く含んでいる時や、紙質によって細断できない時は細断枚数を減らして入れてください。
- 定格細断枚数を細断していても、15 分間以上連続して細断した場合、温度ブレーカーが作動して停止する事があります。その時は、主電源スイッチを「○切」にして、**約60 分間**休ませてから再開してください。
- コンピューター用紙などの連続用紙は切りはなして細断してください。

細断屑の捨て方

- ① 主電源スイッチを「**〇切**」にして必ずプラグをコンセントから抜いてください。

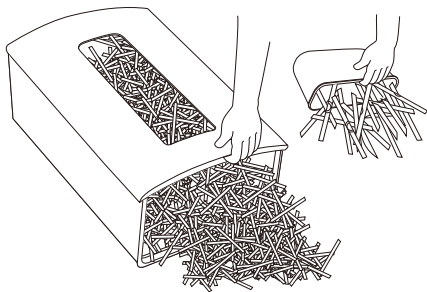
- ② ダストボックスを本体から引き出します。ダストボックスからメディア専用ダストボックスを取りはずしてください。



お願い

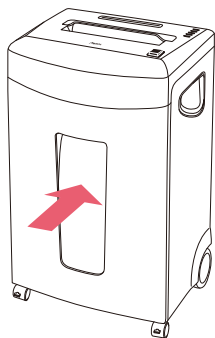
メディアのごみを処理する時は細断屑で手などを傷つけないように注意してください。

- ③ ダストボックス内の細断屑を捨ててください。



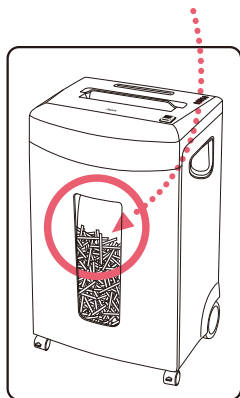
- ④ メディア専用ダストボックスをダストボックスにセットし、ダストボックスを本体にしっかり入れてください。
(P.4 設置方法を参照)

奥まで
しっかり入れる



細断屑をこまめに捨ててください。

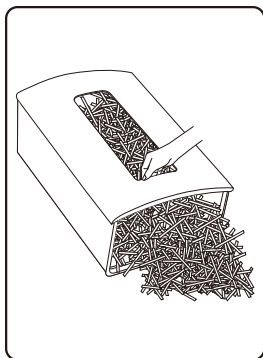
1.ダストボックスの窓から細断屑が見え始めます。



2.細断屑満杯ランプが点灯してから、ダストボックスを引き出すと細断屑がこぼれます。



3.ダストボックスの細断屑をこまめに捨ててください。



お願い

● **細断屑はこまめに捨ててください。**

細断屑が上まで溜まると排出口に詰まり、故障の原因になります。

● **ダストボックスは勢いよく出し入れしないでください。** 故障の原因になります。

● **メディア専用ダストボックスの容量はCD/DVD約7枚、カード約20枚です。**

ダストボックスの容量以上を細断した場合、ダストボックスが開かなくなる場合があります。

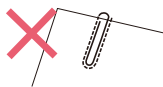
メディアの細断屑を捨てる時は手を傷つけないようにご注意ください。必ず枚数を守り、こまめに捨ててください。

故障の原因となるため、絶対にお守りください。

細断禁止物や通常は定格細断枚数以上を入れないでください

細断する時 用紙は給紙口で、メディアはメディア専用投入口で細断してください。

注1) ゼムクリップ・10/11号以外のステープラー針は取ってください。



●給紙口は10/11号のステープラー針を定格細断枚数内で細断可能です。
必ず枚数を確認してから入れてください。

注5) 10/11号以外のステープラー針・ゼムクリップ・シールや運送会社の送り状等 粘着剤付きの紙・ダンボール・厚紙・和紙等の柔らかい紙・湿った紙・新聞紙・ラミネートされた紙・透明の封筒や窓つき封筒・金属類・プラスチック類・布類・ビニール類を**細断しないでください**。

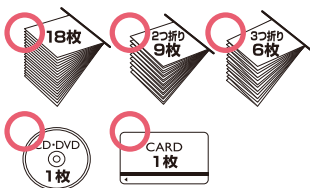
●給紙口にメディア(CD/DVD/カード)を入れないでください。

注2) 通常使用時に連続して細断できる枚数は

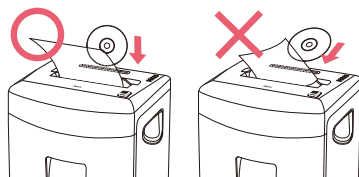
定格細断枚数

定格使用時間(15分間)で一度に連続して細断できる枚数です。

A4コピー用紙……………**18枚**
メディア……………**1枚**



注6) 用紙は給紙口にメディアはメディア専用投入口の中央に**まっすぐ**入れてください。(斜めに入れると紙詰まりの原因になります。)

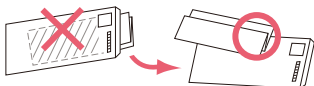


斜めに入れない

注3) 定格使用時間は**15分間**です。
(定格細断枚数を細断した時)

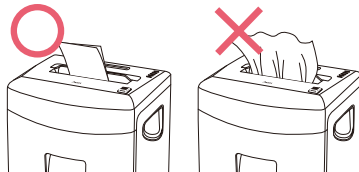
- 定格使用時間とは、上記の定格細断枚数を連続して細断可能な時間のことを表しています。
- 15分間以上細断する時は、一度主電源スイッチを「**OFF**」にして**約60分間**休ませてください。

注4) DMやカタログの入ったままの**厚い封筒**を**細断しないでください**。
(細断枚数過剰および細断禁止物の混入を防ぐため、中身を出して別々に細断してください。)



- 針なしステープラーを使用した紙はそのまま入れないでください。1枚ずつほどき、枚数を確認してから入れてください。
- 用紙を折ったまま入れる時は枚数をご確認ください。

注7) 給紙口の幅より**大きい用紙**は、折って入れてください。(折った時に定格細断枚数以上にならないようにしてください。)



大きい用紙は折って入れる

注8) メディア専用投入口で用紙を細断しないでください。(用紙が刃にからまって細断できなくなり故障の原因となります。)

用紙／メディアが詰まって取り出せない時

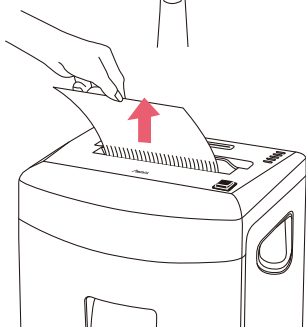
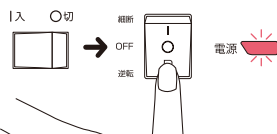
用紙を斜めに入れたり、最大細断枚数以上の用紙を細断した場合、通常はオートリバース機構が働き(P.6「用紙／メディア詰まり(オートリバース機構)」を参照)用紙を取り出せますが、細断屑が満杯になると刃に詰まり自動で取り出せない場合があります。

※メディアが詰まった場合も、同様の手順で取り出してください。

① 主電源スイッチを「**〇切**」にして必ずプラグをコンセントから抜き、ダストボックスの細断屑を捨ててください。(P.9「細断屑の捨て方」を参照)

② ダストボックスを本体の中に入れ、プラグをコンセントに差しします。

③ 主電源スイッチを「**I入**」にしたのち、細断/OFF/逆転スイッチを「**逆転**」にして噛み込んでいる用紙を刃から取り出してください。



④ 用紙を取り出したら、細断/OFF/逆転スイッチを「**細断**」にして数秒間刃を空回転させ、刃についている細断屑を落としてください。



⑤ 細断/OFF/逆転スイッチを「**細断**」にして、細断枚数を減らし、細断していない方向から、再度細断してください。



一度で取り出せない場合

一度で取り出せない場合は「**逆転**」と「**細断**」を繰り返して、取り出してください。

注)「**逆転**」と「**細断**」を繰り返す時は、必ず1秒以上間隔を空けてください。間隔を空けないとモーターやギアに負荷がかかり破損することがあります。

注)「用紙／メディアが詰まって取り出せない時」を数回行っても用紙が取り出せない場合は、故障の恐れがありますので、無理に取り出さずに細断/OFF/逆転スイッチを「OFF」にし、主電源スイッチを「切」にしてP.14「保証とアフターサービス」をお読みいただき、修理をご依頼ください。

故障かな?と思われた時

修理を依頼される前に本取扱説明書をよくお読みいただき、使用方法に間違いがないかご確認ください。

こんな時は	チェック	処 置
刃が 回転しない	・プラグがコンセントからはずれていませんか? ・主電源スイッチが「I入」になっていますか? ・細断/OFF/逆転スイッチが「細断」になっていますか? ・用紙またはメディアが刃に詰まっていますか? ・細断屑が満杯になっていませんか? ・15分以上、連続して細断していませんか? ・オーバーヒートランプが点灯していませんか? ・ダストボックスが本体の中に入り込んでいますか? ・用紙が給紙口の中央に入っていますか? ・メディアがメディア専用投入口の中央に入っていますか?	・プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ・主電源スイッチを「I入」にしてください。 ・細断/OFF/逆転スイッチを「細断」にしてください。 ・本取扱説明書のP.12「用紙/メディアが詰まって取り出せない時」をお読みいただき、用紙またはメディアを取り除いてください。 ・本取扱説明書のP.9「細断屑の捨て方」をお読みいただき、細断屑を捨ててください。 ・主電源スイッチを「〇切」にして約60分間休ませてから再開してください。 ・主電源スイッチを「〇切」にして約60分間休ませてから再開してください。 ・ダストボックスを本体の中に入れてください。 ・用紙を給紙口の中央に入れてください。 ・メディアをメディア専用投入口の中央に入れてください。
刃が回転しても 細断しない	・定格細断枚数以上の用紙またはメディアを細断していませんか? ・紙またはメディアが詰まっていますか?	・通常は、定格細断枚数以下で使用してください。 ・本取扱説明書のP.12「用紙/メディアが詰まって取り出せない時」をお読みいただき、用紙またはメディアを取り除いてください。
細断が 途中で止まる	・用紙またはメディアが給紙口、メディア専用投入口または、排出口に詰まっていますか? ・用紙またはメディアが斜めに入っていますか? ・給紙口の幅より大きな用紙を入れていませんか? ・湿った用紙・厚い用紙を入れていませんか? ・定格細断枚数以上の用紙またはメディアを細断していませんか? ・ゼムクリップ・ステープラー針・ラベルやのり、フィルム等がついた用紙またはメディアを入れていませんか? ・細断屑が満杯になっていませんか?	・本取扱説明書のP.12「用紙/メディアが詰まって取り出せない時」をお読みいただき、用紙またはメディアを取り除いてください。 ・用紙またはメディアをまっすぐ入れてください。 ・給紙口の幅より大きい紙は折って入れてください。(折った時に定格細断枚数以上にならないようにしてください。) ・細断禁止物や通常は定格細断枚数以上を入れないでください。 ・本取扱説明書のP.9「細断屑の捨て方」をお読みいただき、細断屑を捨ててください。
本体が熱い	・15分以上、連続して細断していませんか?	・主電源スイッチを「〇切」にして約60分間休ませてから再開してください。
刃の回転が 止まらない	・給紙口・メディア専用投入口に細断屑が詰まっていますか?	・主電源スイッチを「〇切」にして必ずプラグをコンセントから抜いて、ピンセットなどで、詰まった細断屑を取り除いてください。

以上のチェックを行っても直らない場合は、まずお求めの販売店へ下記の事項をできるだけ詳しくご連絡ください。

①故障状況 ②品番「S90C・SA90C」 ③ご購入年月日(保証書に記入されています。)

保証とアフターサービス よくお読みください

修理やご不明な点などのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間でです。

保証期間中でも、有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

※本機を分解されますと、保証が無効になります。

■修理を依頼される時は

P.13「故障かな?と思われる時」をご確認ください。それでも異常がある時は、使用をやめて
お買い上げの販売店に保証書を添えてこの製品を「お持込」のうえ、修理をお申し付けください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきます。

●保証期間を過ぎている時は

修理によりご使用できる場合には、有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、基本料・技術料・部品代等で構成されています。

基本料:診断・点検等の費用です。

技術料:故障した製品を正常にするための修理・調整等の作業にかかる費用です。

部品代:修理に使用した部品代金です。

■出張修理は行っておりません。

点検や修理の発送のために外箱・緩衝材を保管しておいてください。

■お問い合わせは

この製品についてのご意見・ご質問はカスタマーサービスセンターへお申し付けください。

お願い 修理を依頼される時は、付属品も一緒にお持込ください。

■便利メモ お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話() -

愛情点検	長年ご使用のシュレッターの点検を!
	このような症状はありませんか ●電源を入れても細断しなかったり、途中で止まったりする。 ●電源コードに傷があったり、電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常な発熱、異音、異臭がする。
	故障や事故防止のために、主電源スイッチを「切」にし、コンセントからプラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

保証内容（修理規定）

- 取扱説明書・本体貼り付けラベル等の使用上の注意に従った使用方法で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店まで製品と本書とお買い上げが証明できる領収書やレシートを「お持込」の上、修理をお申し付けください。
(ロ) お送りいただく場合の梱包・輸送の費用等はお客様のご負担になります。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障・損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設・輸送・落下等による故障・損傷。
(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）等による故障・損傷。
(ニ) 車両・船舶等に搭載された場合に生ずる故障・損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合には、お買い上げの販売店または、株式会社アスカのカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

クロスカットシュレッダー

保証書

持込修理

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話番号	(
	お買い上げ日	年 月 日
販売店名・住所・電話番号		
電話() -		

品名 クロスカットシュレッダー
品番 S90C-SA90C
保証期間 お買い上げより1年間

（ ）に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名などを証明する書類をお貼りください。

株式会社アスカ

保証書にご記入いただきました個人情報の取扱について

お客様にご記入いただきました保証書記載の個人情報（お名前、ご住所、電話番号）は保証期間内のサービスの目的にのみ利用させていただきます。これらの情報は、お客様に明示した利用目的の範囲をこえて利用することはありません。業務上必要な範囲をこえて、個人情報を第三者（修理委託先は除く）に開示または提供いたしません。

カスタマーサービスセンター ☎ 03-5690-9412
受付時間：AM10:00～12:00/PM1:00～5:00
月曜日～金曜日
（祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く）

修理メモ